

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月7日
住 所 埼玉県三郷市彦野1丁目81番地
県内企業等の名称 株式会社ヤマモトジオサーブ
代表者役職 氏名 代表取締役 山本 正治

株式会社ヤマモトジオサーブ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ヤマモトジオサーブは、「誠実であること」を社訓とし、安全・迅速・正確な調査を実施することで、地域社会に貢献します。「誠実であり続ける」ことを原点に、50年先のヤマモトジオサーブを見据え、「自助」「共助」「公助」をキーワードに、SDGs達成に向け、企業としての取り組みを考えます。今までも行ってきた自社の取り組みについては、SDGsの目標に照準を合わせて、さらに強化します。【＝強化取組】 また、小さな企業でも実行可能な率先行動を組み込み、意識的にSDGs達成に向けた取り組みを励行します。【＝先攻取組】

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地域の河川・水路の保全活動に積極的に参画することで、地域の豊かな環境と原風景を次世代へ継承することを目指す。 <(現状値)2023年の数値(3年累計)> 第二大場川:1回2名 江戸川クリーン:2回3名 上彦名地区用水路:5回28名 3年間延べ 参加人数33名	<2030年に向けた指標> 第二大場川:年2回、上彦名地区用水路:年6回の清掃活動、参加人数2020年より累計200人 <3年後に向けた指標> 第二大場川:年1回、上彦名地区用水路:年3回の清掃活動、参加人数2020年より累計90名
社会	地域の方々に役立つ情報の提供や、防災についての啓発活動を通じて、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応能力の強化を目指す。 <(現状値)2023年の数値(3年累計)> 講座・講習・相談会:自主開催は未実施 ※他相談会や講習会の相談員や講師実績はあり 延べ11回	<2030年に向けた指標> 講座・講習・相談会開催累計20回、受講者2020年より累計300人 <3年後に向けた指標> 年1回地元での出前講座を開催、受講者2020年より累計50人
経済	「誠実な調査を安全・迅速・正確に実施し、高品質で信頼性の高い成果を納入する」「技術開発を促進する」ことで、強靱なインフラ構築、持続可能な社会の実現を目指す。 <(現状値)2023年の数値> 作業班5班、技術士1名、地質調査技士8名、測量士1名、土木施工管理技士2名	<2030年に向けた指標> ご依頼者様の信頼からもたらされる受注の増加、作業班の増設(作業班8班)、資格取得(技術士3名、地質調査技士11名、その他資格5名増)※対2020年 <3年後に向けた指標> 作業班の増設(作業班6班)、技術継承・資格取得(地質調査技士11名、その他資格2名増)※対2020年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。